

普及技術

分類名 [草地飼料]

イタリアンライグラス奨励品種「アキアオバ3」

畜産試験場

1 取り上げた理由

採草用牧草として平成 23 年春から流通開始されるイタリアンライグラスの極晩生品種「アキアオバ3」について、品種登録以前に宮城県畜産試験場において検定試験を行ったところ、その成績から高位生産が期待できると認められたので、普及技術とする。

2 普及技術

- 1) 「アキアオバ3（茨城県畜産センター育成，系統名：友系 28 号）」の品種特性は以下のとおりである。
 - a 出穂始期は極晩生の県奨励品種の「アキアオバ」より 3 日遅い，4 倍体の極晩生品種である。
 - b 県奨励品種「アキアオバ」と比較して越夏以降及び利用 2 年目の乾物収量が多収であり，越夏及び 2 年目の利用が可能である。
 - c 耐倒伏性は県奨励品種「アキアオバ」と同程度である。

3 利活用の留意点

- 1) 栽培管理については牧草・飼料作物（県奨励品種）の栽培の手引を基本とすること。
- 2) 気象条件・管理条件によっては越夏しないこともあるので，越夏性を低下させないように，越夏前の刈取は刈遅れないように留意し，適期適量施肥に努める。



図 1 アキアオバ3（撮影 茨城県畜産センター）

（問い合わせ先：畜産試験場草地飼料部 電話：0229-72-3101）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

牧草系統適応性検定試験（平成14年度～17年度）

2) 参考データ

表1 生育特性（3年間平均）

品種名	発芽の良否 ^{※1}	定着時草勢 ^{※1}	越冬性 ^{※1}	病虫害 ^{※2} (1番草)	倒伏 ^{※2} (1番草)	草丈 cm (1番草)
アキアオバ3 (友系28号)	4.0	4.5	4.9	1.2	2.0	103.6
アキアオバ(標準品種)	4.9	5.0	4.2	1.4	2.3	106.7

※1 発芽の良否・定着時草勢・越冬性の評価法：極良を9，極不良を1とする評価法

※2 病虫害・倒伏：無を1，甚を9とする評価法

表2 出穂始期及び季節別乾物率

品種名	出穂始期				季節別乾物率 (2期平均, %)		
	H15	H16	H17	平均	越夏前	越夏後	2年目1番草
アキアオバ3 (友系28号)	5/9	5/14	5/20	5/14	14.6	17.9	21.4
アキアオバ(標準品種)	5/1	5/14	5/19	5/11	15.6	18.2	21.5

※越夏前：5～8月収穫番草の平均，越夏後：9月以降収穫番草の平均 ※（ ）内は標準品種（アキアオバ）を100とした値

※刈取回数：<H14.10播種分>H15：5/14～10/27に5回+H16：5/19に1回，<H16.10播種分>H17：5/26～8/4に3回

表3 年別及び季節別乾物収量

品種名	年次別乾物収量 (kg/a)			季節別乾物収量 (2期平均, %)			
	H14秋播種 (H15～16刈取)	H16秋播種 (H17刈取)	平均	越夏前	越夏後	2年目1番草	計
アキアオバ3 (友系28号)	264.0	166.1	215.1	152.9	25.6	36.6	215.1
	(105.8)	(101.2)	(103.9)	(96.8)	(132.3)	(123.5)	(103.9)
アキアオバ(標準品種)	249.6	164.2	206.9	158.0	19.4	29.6	206.9

※越夏前：5～8月収穫番草の平均，越夏後：9月以降収穫番草の平均 ※（ ）内は標準品種（アキアオバ）を100とした値

※刈取回数：<H14.10播種分>H15：5/14～10/27に5回+H16：5/19に1回，<H16.10播種分>H17：5/26～8/4に3回

3) 発表論文等 なし

4) 共同研究機関 なし